

1. 科目名（単位 数）	介護家政・環境論（2 単位）	3. 科目番号	SNMP3105
2. 授業担当教員	新田 恵美		
4. 授業形態	講義、聞き取り調査の発表、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	生活支援技術・環境、生活支援技術・家政における実習・演習との関係ある学び。		
7. 講義概要	介護の現場においては、介護技術とともに、人間の欲求や人間生活の仕組みを理解し、すべての人が文化的で人間らしい生活を営むことができるよう支援できる力が必要となる。 そこで本授業では生活支援の意義や目的の理解に重点を置き、家庭生活の意義・生活経営・家庭管理・家庭経済について知識を深めていく。 さらに、介護の専門家の基礎として、食生活における課題として生活と食事・身体機能と栄養・食品の成分管理・安全性、衣生活における課題として被服の役割と機能・素材と品質表示・洗濯と管理・高齢者や障害者に適した被服、住生活では住居の役割と機能・生活空間・住居の安全・快適な室内環境などについて基本事項を習得し、要介護者とその家族にとって具体的にどんな支援が必要なのか考察しながら、具体的に身に付けていく。		
8. 学習目標	1. 要介護者とその家族の家庭生活、要介護者と地域・社会のあり方、消費生活についての知識を獲得する。 2. 高齢者・要介護者の栄養摂取など食生活における支援を理解し説明できる。 3. 衣生活における被服の役割・管理方法、要介護者に必要とされる被服の機能・被服環境についての知識を獲得し、説明できる。 4. 要介護者の住生活について必要とされる住環境の要件について習得できる。		
9. アサインメント （宿題）及びレポ ート課題	【課題1】「高齢者の人生や生活について（衣生活・食生活・住まいの視点から）昔の生活・今の生活」 高齢者理解を目的として、身近な高齢者の聞き取りを行い、レポートを作成する。またレポートを基にプレゼンテーションを行う。 【課題2】各項（生活支援・食生活支援・衣生活支援・家事支援・居住環境）の学習後、確実な知識理解の定着を図るため確認テストを行う。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 介護福祉士養成講座編集委員会編『最新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I（第 2 版）』中央法規, 2022 年。 【参考書】 その都度、最新の情報を授業内にて紹介します。 【教材】 毎時授業ごとにレジュメを配布します。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ・要介護者とその家族の家族生活、要介護者と地域・社会のあり方、消費生活についての知識を獲得したか。 ・高齢者・要介護者の栄養摂取など食生活における支援を理解し説明できるか。 ・衣生活における被服の役割・管理方法、要介護者に必要とされる被服の機能・被服環境についての知識を獲得し、説明できるか。 ・要介護者の住生活について必要とされる住環境の要件について習得したか。 ○評定の方法 ・授業への積極的参加 30% ・聞き取りレポート・発表内容 20% ・期末試験（知識確認まとめテスト） 30%		
12. 受講生への メッセージ	要介護者とその家族の生活を支援する上で必要とされる専門的知識や技術の獲得をめざす授業とともに創り上げたいと願っています。介護の専門家として人間性や自己研鑽に励み、積極的な態度での授業参加を期待します。また、疑問点は随時質問し、授業課題に対して積極的に取り組んでください。		
13. オフィスアワー	火曜日		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	シラバスの説明（学習の目的・内容・評価など） 高齢者の生活理解と学びに対する思いを話し合う。 課題提示(課題目的・聞き取り方・テーマの決め方・発表法などの説明)	事前学習	シラバス・学習準備について書き込める予定表を準備し臨むこと。
		事後学習	学習日程・学習内容・学習準備について確認し、学習の見直しを持つ。
第 2 回	第 1 章第 1 節 生活支援の理解 生活支援とは何かディスカッションを通してアプローチの仕方を考えていく。	事前学習	教科書第 1 章第 1 節を読んで 授業に臨むこと。
		事後学習	授業を通してポイント（生活の構成要素）について知識理解を図っておく。
第 3 回	第 1 章第 2 節 ICF に基づいた生活支援 生活支援の基本的な考え方について ICF の視点などからディスカッションを通して学びあう。	事前学習	教科書第 1 章第 2 節を読んで 授業に臨むこと。
		事後学習	授業を通してポイント（プロとしての生活支援）を掴み、知識理解を図っておく。
第 4 回	第 1 章 3 節 生活支援と介護予防、 （高齢者・障害者の生活） 「確認テスト 1」生活支援	事前学習	教科書第 1 章第 3 節を読んで 授業に臨むこと。
		事後学習	授業を通してポイント（支援における予防）を掴み、知識理解を図っておく。

第5回	第4章 生活支援における福祉用具の意義 第4章1, 2, 3節 (高齢者・要介護者のくらしの実際1)	事前学習	教科書第3章第1節 pp. 194 ～216 を読んで授業に臨むこと。
		事後学習	確認テスト「生活支援」を見直し間違っていたところを再確認し、知識理解を図っておく。
第6回	自立に向けた家事の介護1 自立した家事（高齢者・要介護者のくらしの実際2） 食生活の基本知識の獲得1 栄養素と効果と高齢との関わりについての理解	事前学習	教科書第5章第1節 pp. 216 ～222 読んで 授業に臨むこと。
		事後学習	家庭生活にかかわる基本知識を「生活支援技術・家政」の授業実習とあわせ栄養素の効果と高齢との関わりについて理解の確認を図る。
第7回	自立に向けた家事の介護2 食生活の基本知識2 食品の保存・規格表示・安全性 家庭生活と食事 「確認テスト2」食生活支援	事前学習	食生活資料を読んで 授業に臨むこと。
		事後学習	確認テスト「食生活」を見直し間違えていたところを再確認し、知識理解を図っておく。
第8回	自立に向けた家事の介護3 衣生活の基本知識 被服の役割と機能 被服の素材、繊維製品の取り扱い、表示記号の理解、 高齢者・障害者の被服の特徴について学ぶ。 「確認テスト3」衣生活支援	事前学習	衣生活資料 を読んで 授業に臨むこと。
		事後学習	家庭生活にかかわる基本知識を「生活支援技術・環境」の授業実習とあわせ高齢者の被服にかかわる基本知識の理解の確認と繊維製品の取り扱いや表示記号の知識理解を図っておく。
第9回	自立に向けた家事の介護4 家事支援における介護技術1 家事支援の意義と目的についての理解を深める。	事前学習	教科書第5章第2節 pp. 223～259 を読んで授業に臨むこと。
		事後学習	授業を通して家事支援のあり方を考え、まとめることができる。
第10回	家事支援における介護技術2 家事の介護 一般的な家事と介護職が行う家事の違いを考え、家事支援のあり方を学ぶ。 演習 5-1 6-1	事前学習	教科書第5章第3節 pp. 251～258 を読んで授業に臨むこと。
		事後学習	学習したことを踏まえ、介護職としての家事支援をまとめておく。
第11回	家事支援における介護技術3 調理・洗濯・掃除・ゴミ捨て・買い物における支援技術について学ぶ。 「確認テスト4」家事支援	事前学習	前時の授業内容を基に家事支援における具体的な介護技術をワークシートにまとめ提出できる準備をする。
		事後学習	家事支援技術を具体的に理解し、自分の日常生活において習熟を図る。
第12回	第2章 居住環境の整備1 居住環境の整備1（住まいの整備のための基本技術） 段差・スペースなどの確保について	事前学習	教科書第2章第1節居住環境の整備の意義と目的 pp. 32～80 に目を通して 授業に臨むこと。
		事後学習	授業を通してポイント住まいの役割と機能を考え、知識理解を図る。
第13回	居住環境の整備2（住居の役割と機能） 生活に即した安全快適な住まいについて 演習 7-1, 7-2	事前学習	教科書第2章 PP. 35～80 生活空間・室内環境を読み、授業に臨むこと。
		事後学習	授業を通してポイント（住居の役割）を掴み知識理解を図る。
第14回	居住環境の整備3（福祉住環境について） 「確認テスト5」居住環境	事前学習	参考資料・教科書第2章第4節5節安心で快適な生活環境づくり pp. 56～70 を読んで授業に臨むこと。
		事後学習	祉住環境について基本知識の理解の確認と確認テストの復習をする。
第15回	高齢者・要介護者のくらしの実際(衣・食・住生活環境の現状と課題)聞き取り・調べから発表 期末試験（知識確認まとめテスト）	事前学習	課題1についてそれぞれの計画に基づいて聞き取りを実施しておく。誤字脱字などがなか推察して提出する。
		事後学習	発表を通して知ったこと学んだことを基に高齢者理解を深める。